

水の都 城下町徳島

第1章 海の参勤交代と
城下町徳島



徳島藩参勤交代渡海図屏風 有賀上次氏寄贈

初公開



初公開



徳島城鬼瓦 桑原辨一氏寄贈

第2章 徳島城下・橋物語



徳島県指定文化財 新町橋渡初之図 守住貫魚筆 松浦家蔵

徳島藩二万七〇〇〇石の中心地であった城下町徳島。河川が乱流して形成された三角州の地形を活かし、城下町徳島は水運によって繁栄します。藩主蜂須賀家の居城である徳島城を中核に城下町の規模・人口は拡大を続け、明治二二年の市制施行時には全国第一〇位の人口を誇りました。現在の阿波踊りへとつながる徳島城下の盆踊り、お接待文化の息づく四国遍路、そして阿波藍は、いずれも城下町徳島の繁栄と密接なつながりを有しています。この展覧会では「水の都」である城下町徳島の歴史と文化を、さまざまな資料から紹介します。



御山下眺望之図(部分) 江戸時代後期

第3章 阿波藍と阿波踊り



徳島市指定文化財 徳嶋孟蘭盆組踊之図(部分) 原田家蔵

第4章 城下町と四国遍路



四国徧禮絵図 文化4年(1807)版 個人蔵

第5章 城下町から
近代都市へ



徳島市全景 大正11年(1922) 『東宮殿下行啓記念』(東條英機氏寄贈)より